

令和3年6月28日

## 武藤先生による研修会

瀬戸市教育委員会



6月16日（水）瀬戸市立小中特別支援学校の校長会は、新型コロナウイルス感染症についての研修会を、にじの丘学園にて行いました。講師には、陶生病院で感染症内科主任部長を務めていらっしゃる武藤義和先生をお招きし、新型コロナウイルス感染症についての最新情報をお話いただきました。

武藤先生はこれまで陶生病院の感染症内科で治療に携わる一方、各種メディアにも多数出演されており、新型コロナウイルス感染症についての正しい知識を発信していらっしゃいます。

研修会では、学校の教育活動の中で、一人ひとりが感染対策を続けることはもちろんのこと、やがて収束したとしても今回の感染対策について忘れないことが大切であるとお話がありました。人間社会における大きな被害として忘れてはいけないこととして語り継ぎながら、何十年後かに再びパンデミックに遭遇したとしても、経験をいかして正しい感染対策ができるよう学ばせることが重要であるとのことでした。

また、ワクチンについても副反応などの報道のために、不安な気持ちになる方が多いように感じていますが、接種することで体に起こる反応や、諸外国での接種後の様子も丁寧に伝えていただき、大変勉強になりました。

今回の研修で得たことを学校でいかしながら、コロナが収束するまで、感染に強い学校づくりを継続していきたいと思います。武藤先生、ありがとうございました。